

令和5年度 第3回博物館協議会 (抄録)

日 時 令和6年1月26日(金) 午後1時30分～2時30分
場 所 安城市歴史博物館2階講座室
出席委員 高山 忠士 会長
加藤りせ子 副会長
荒井 信貴
市川とし子
平岩 政志
事務局 加藤 浩明 生涯学習部長
邨澤 英夫 文化振興課長
片岡 晃 安城市歴史博物館館長
野上真由美 学芸係長
西島 庸介 専門主査
千田 佑香 主事
本部はる香 主事補
井上宗一郎 指定管理者
安祥文化のさと地域運営共同体総括責任者
石川 明良 指定管理者
安祥文化のさと地域運営共同体取締役部長

次 第

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 令和5年度開催済事業報告

(2) 令和6年度事業計画(案)

3 その他

(1) 今後の日程

・第1回 令和6年5月下旬 予定

協議事項

(1) 令和5年度開催済事業報告

事務局	【令和5年度開催済事業報告について説明】
指定管理者	【令和5年度開催済事業報告について説明】
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いします。
委員	資料の収集の関係ですが、安城関連のものは分かりますが、資料の受け入れの基準みたいなものはあるのですか。収蔵庫は無尽蔵な訳ではないので、余裕があればよいのですが気になっています。
事務局	収集基準としましてはやはり、安城市に関わりがあるもの、そして安城の歴史を説明する資料であること、それと来歴等をご説明を受けて、理解できるようなもの、などを基本的な判断基準にしております。収蔵庫の容量も踏まえあまり新しいものにつきましては、受け入れは難しいので、およそ昭和30年代あたりまでを目安にしています。寄贈の申し出があった際にはご事情を聞いた上で、学芸員で確認をして受け入れを行うようにしています。
委員	今のところ、収蔵庫の容量は何とかなっているという理解ですか。
事務局	なかなか厳しいのが正直なところです。市内の他の施設に移せるものを移動させたり、資料整理を進めて、無駄な収蔵スペースを減らしたりするなど工夫はしています。しかし長い目で見ると、収蔵庫容量を超えることも想定されるので、新しい収蔵庫の建設計画について考えていかないといけない段階に来ていると考えています。
委員	収集だけでなく、資料の購入についても、基本的な何か要項のようなものはあるのですか。特に資料購入などは、公金を使う話になるので、令和4年度の三河国絵図を購入した際には博物館協議会を臨時に開催し意見を聞いていましたが、現在資料購入について検討する特別な委員会に相当する会議がありませんね。今後、購入や資料の受け入れをする際にはこの協議会で了承を得るのかなどシステムを決めておかれた方がよいと思われます。最終的な責任の取り方みたいところが大事な話になるので、事後承諾だけでもこの会議で異存はないという念書を取るなどオフィシャルにOKということ

	<p>ころが必要なのもかもしれないという気がしています。購入など大きい金額の資料は、資料購入検討委員会などを開催した方がいいと思われませんが、通常の資料受け入れについても、会長が言われたとおり、収蔵庫がいっぱいになって、取捨選択が必要になる時が来るので、やはりどこかで資料受け入れのシステム作りをされた方がいいのではないかという気はしています。</p>
<p>委員</p>	<p>特別展・企画展についてですが、まずボランティアガイドの立場から言いますと、特別展「安城譜代1・2」をやっていただきありがとうございました。ガイドの方も勉強させていただきましたし、それから本證寺にいと、安城市歴史博物館で本多展・酒井展を見てきたよと言いながら本證寺にみえた方が多くいらっしゃいました。また市民の立場では、企画展「家康と三河の城」は、目標人数200%以上のお客さんがみえているのですが、我々ちょっとマニアから言うと、パネルがあり、写真があり、解説があつて、すぐ理解できる内容でした。しかし一般の市民から言うと、安城市や近隣にこのような城があつて、このような伝説があつてということを知って知ったという声を聴きました。貴重な歴史とか文化財を展示しなくても、今回の内容でも普通の方は理解していただけそうなので今後も地元のことも展示するのもOKだなと思いました。</p> <p>また、令和5年に文化財係で家康ボランティアとして一般の方を40人ほど募集しました。令和5年の12月で解散式をした際に聞いたのですが、応募動機として安城市歴史博物館や本證寺には来たことがないのですが、市の広報をみたらガイドを募集するので初めて来たという声もありました。一年間ガイドボランティアをやってみて歴史の解説やガイドや史跡に興味を沸き、観光ボランティアとして引き続き研修受けたいという方が30人を超えております。また、引き続き歴史博物館のボランティアガイドに携わりたいという方もたくさんいました。その中には本證寺と安城城のことを覚えたので、常設展のその部分のみガイドをしたいという方や、大人だけを対象にガイドしたいという方もいました。常設展というのは、古代から現代まであり、来館者も小学生や、大人も来るのでなかなか難しいということを説明するとこれから勉強すると言ってみえた人もいました。今後は、博物館ボランティアとして勉強会などを開</p>

	催される際は、一般の方にも小学生向けにもやさしく話ができるような常設展ガイドの育成をお願いしたいです。
委員	<p>特別展「安城譜代2 三河本多一族」と、企画展「家康と三河の城」を見させていただいて本当にすごく楽しめました。特に個人的には本多豊後守家康重の、家康から拝領した童具足が展示してあったことにとっても感動しました。この童具足はずっと本多家に伝わったのですがその後所蔵者が変更になり、それがこの安城の博物館で展示されました。本多豊後家康重の四男重世は、大坂の陣の後に、旗本として安城市域の古井村と堀内村など千石を与えられました。重世が古井村の領主であったということで非常に親しみを持っています。また伊奈本多家についても康俊の次男が大坂の陣のあとに旗本となり、その時に西端村と城ヶ入村の領主になっています。また相給ではありますが桜井村の領主にもなっています。また、康俊の子俊次が西尾城主で、康俊の三男が相給で桜井村の領主になっているので、そういうところの紹介もあるとすごく親しみやすいなと思いました。小川本多家というのもありますけれども、本多正信が小川町の出身という説があることについて知っている人も、小川村でも少ないですけれども、そういうところも紹介していただけるとすごくよかったですと思いました。</p>
委員	<p>企画展「家康と三河の城」ですが先ほど普通の展覧会という話をされたのですが、実はあそこまでいろんなデータを揃えて普通に見せるっていう形をとったのは、本当に画期的なんじゃないかなと。これは担当学芸員が、去年の4月からずっと始めて、西三河の各市町村の文化財担当者に各月毎にヒアリングをし、それを全部集めたなかで、どう判断するかっていう形で展示を行っていました。実は本当に色々と掘り起こしながらやった展示なので、それを普通に見せるっていうところが、やはり大事な話なんだと思います。考古系の展示ですと土器ばかり並んでるとどうしても、僕らでも嫌になりがちですが、ビジュアル的なものを多数加え、わかりやすく非常にいい展示であったのではないかと思います。それだけフォローアップさせてください。</p>
会長	それでは、(1) 令和5年度開催済事業報告はよろしいですか。

事務局	本日ご欠席の委員から事前にご意見いただいておりますので報告させていただきます。まず今年度の歴博の学校教育との連携状況につきましては、校長会の方に報告をさせていただきます。また今年度社会科部会の研修を歴博で行いました。歴博と社会科部会との連携は次年度も継続していきたいというご意見をいただいております。
委員	今年度で戦国期の特別展を2本連続で実施するという大変さが良く分かったと思います。以前にも会長から指摘されていた話なのですが、やはり十分ゆとりを持った形でスケジューリングしないと問題が起こりますので今後気をつけていただければと思います。

(2) 令和6年度事業計画(案)

事務局	【令和6年度事業計画(案)について説明】
指定管理者	【令和6年度事業計画(案)について説明】
会長	ありがとうございました。では、事業計画の質問とご意見ほかありましたら。
委員	特別展「ごろごろまるまるネコづくし」というのは、(株)アートワンがこれまでも他館で開催してきたものですか。
事務局	これまでのものとは異なり、安城市歴史博物館が最初の開催館になります。
委員	ネコの展覧会というのは10年ほど前に、名古屋市博物館で始まった浮世絵の猫だけ取り上げて並べたという画期的な展覧会です。昨年度では、京都文化博物館で名古屋市博物館から協力指導を得て、猫の展覧会をやっていました。恐らく集客はそれなりにいけると思います。また浮世絵の展示かという話になるのか、それともまあそれなりに興味がある人が集まってくれるのか。その辺が今後の展示を考えていく上で一つの目安になるのではと思っていますので、頑張ってやっていただければと思います。 また、市民ギャラリーの企画展「大正イマジユリィの世界」と歴博の特別展「昭和の家族」ですが、これは大正と昭和と並ぶことは何か意図していましたか。
事務局	若干意識はしました。

委員	なかなか、面白いなと思って。なかなかリンクすることは珍しいのではないかと思います。
事務局	ギャラリーの「大正イマジユリィの世界」が先に決まっており、歴博エントランスでは恒例の福よせ雛も開催されるのでそれに合わせて企画をしました。
委員	逆に言えば一連の流れの中で観覧者をギャラリーから歴博に流すような仕組みはせっかくなので考えたほうがいいですよ。指定管理者とうまくリンクしながら考えていかれるといいのかなと思っています。
委員	特別展「安城譜代2 三河本多一族」で小川本多家というのが出てきて、私はよく出してきてくれたという反面と、小川本多家という言葉は一般的に認識されているのか、安城市歴史博物館独自ののか教えていただきたいです。実は小川本多家とはどこにあるのか案内して欲しいという依頼が急に増えました。小川町の昔の地籍図を見ると現在の桜井中学校の隣の田んぼになんとか四角くなっているところがあり、これじゃないかとお伝えすると、この現場が知りたいと言われて何度か行きました。どういう意図で小川本多家と名前付されたのでしょうか。これからはずっと小川本多家でやっていかれるのでしょうか。
事務局	小川本多家については、特に本多正信の出自は諸説ある中、小川という説もあるということで、「三河本多一族」展では図録や凡例などで、今回は小川本多家を使わせていただくと断わっています。決して決まった名称ではないのですが、当館としては安城市とゆかりがあるということを伝えるためにそのような使い方をしたという風に、ご理解いただければと思います。
委員	それだと石川数正も、すぐ近くですよ、それは確かなんですよ、そちらの方は。ついでに宣伝もされると。
委員	今回の本證寺の家康ガイドや、これからガイドボランティアとしてやっていく側から言うと、小川本多家ということは嬉しいことなので胸を張って言って欲しいです。
事務局	出自については諸説ありということをつけ加えていただけるとありがたいです。

委員	<p>数正の方も。確かですので。</p>
委員	<p>大河ドラマの中で松山ケンイチさんが本多正信役を演じたことでクローズアップされていてタイミング的には良かったかなと思いました。</p>
委員	<p>9月から始まる特別展「国絵図の世界」ですが、偶然に他館の展示の中で、意図してかどうか分らないのですが、古地図という風な表現が使われていました。まだ見てないので分からないのですがなんで村絵図じゃなかったのかなとも思います。そして同じように、絵図ですが、一応定説として江戸幕府が命じて全四回国絵図が作成されたのですが、国絵図の中でもかなり性格が違います。例えば正保の国絵図を例にあげると、岡崎市美術博物館が愛知県史に掲載された国絵図を所蔵されています。当館でも正保の国絵図を資料として収蔵しています。それを、両方とも正保の国絵図と言いますが、美博のも当館のも、実際には年号が書いてないので推定されてそういうふうに言っています。そして微妙に、同じ正保の国絵図でも表現が違うんですよ。そこがすごい面白いなって、個人的には思っています。それぞれに、当館の持っている正保の国絵図と、岡崎市美術博物館の持っている国絵図について、国は同じですが、細かい点を見ていくと、結構違いがある。もとになった絵図なのか、あるいは単なる写しなのかという形を含めて、そういう資料を見ていくときの面白さみたいなものが、展示してもらえると、私としては、大変興味があるところです。</p>
委員	<p>それぞれ大変な展覧会になると思います。とにかく早めに借用で持ってくるころの資料はどうやって見せるかということはある程度検討しておかないといけないと思います。令和4年度に購入した国絵図も、あのまま見せるわけにはいかないですよ。裏打ちするのか、アクリルなどに挟むのかで、見せ方はがらっと変わってきます。しかも、他館から借用する資料も、状態としては、軸になっているもの、なっていないものもありますから、展示ケースなど制作物を作る必要もあると考えられます。資料についてはケースの中にひょっとすると入らない可能性もあるので早めにきちんと採寸することが重要だと思います。秋の展示ですが、早め早めに始めていただけるといいなと思います。購入した国絵図はあのままですか？</p>

	<p>それとも軸装までしてありますか。軸装しない場合は、どうやって見せるのですか。大きな台の上に乗せて、人が触ることができないようにしなきゃいけないですよ。そのような地図がいっぱい来ると思っているのも本当に大変だと思いますので、資料の採寸や展示物の検討は早めにしていただけるといいと思います。</p>
事務局	<p>令和4年度に購入した国絵図ですが、傷んでいる部分がありましたので、今年度修繕をしています。修繕内容としては裏打ちを2枚して、折り畳みの方法を検討し、折り曲げる回数を減らして折ってもらい2月末に納品予定です。なので資料としては裏打ちした状態でしっかりはしますが、軸装にはしませんので、そちらをどうやって展示するかは今後詰めていきたいと考えています。今年度中から準備を進めていますので、造作物についても早いうちに業者と打ち合わせをしていきたいと考えております。</p>
委員	<p>高精度のデータも納品されますか。</p>
事務局	<p>修繕に際しまして高精度の写真も業務の中に入れていきますので、資料とともに納品されます。</p>
委員	<p>江戸時代の早い時代の、1600年代の絵地図でしたよね。そういった時代の資料をみることができるのはとても興味があります。</p>
会長	<p>ほか、よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>欠席された委員からのご意見をご報告します。やはり災害展のことで、期せずして今年1月1日に能登半島地震が起こったということで、校長会の歴博開催や企画展の視察を希望したいというご意見がありました。これにつきましては委員の方から、校長会の方へ話をしていただけたことでした。歴博としてもお話があった場合は前向きに検討していきたいと考えております。</p>
会長	<p>委員からの件はそれでよろしいですか。それでは、司会を、その他に入りますので事務局に返したいと思います。お願いします。</p> <p>慎重審議ありがとうございました。</p>

3 その他

(1) 今後の日程

事務局	<p>今回の博物館協議会で令和5年度のすべての、第3回目まで終了となりましたが、委員の皆様方につきましては、令和6年度も引き続きお願いいたします。今後の博物館協議会の日程についてお伝えいたします。令和6年度第1回博物館協議会を、令和6年5月下旬、で予定の方をしております。教育長にもご出席いただく予定で考えですので、日程調整ができましたら改めて通知文を送らせていただきます。</p>
-----	---